

# 最優秀に佐藤さん

## 群馬建協 15件の技術事例発表

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は15日、



最優秀の佐藤さん

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は15日、前橋市の群馬建設会館で2023年度施工技術発表会を開いた。来場者を少人数に絞った上で、協会12支部約250人と官公庁の聴講申込者約50人をウェブカメラでつないだ。今回は土木12件、建築3件の計15件の事例発表があり、大手組（安中市）の佐藤尚希さんが最優秀に選ばれた。

開会に当たり、青柳会長は「技術者の皆さんがくり上げてきた成果を学び取る機会としてほしい」、塩原会長は「さまざまな事例を学ぶことは、良質な社会資本整備に貢献することにつながる」と話した。また、群馬県土木整備部建設企画課の後藤剛課長が来賓あいさつを述べた。

最優秀に選ばれた大手組の現場は「湯ノ入橋A2橋台工事」（群馬県安中土木事務所）で、県内初のICTによる出来高管理で発注された。起工測量から構造物工の出来高管理までのICT化を、外部委託せずに自社ですべて管理した。佐藤さんは「自分だけではなく、社内のみならず、協力して取り組んだ。2次平面だと分かりにくい複雑な構造物も、3次元だと（画面上で）回転させられて把握しやすく、ICT化のメリットを感じた」と語った。鉄筋の干渉などの問題点も事前に対処でき、工事関係者で共有できた。

表彰後、審査委員の高崎河川国道事務所の洲永美秋副所長は講評で「発表会の取り組み内容を受注者の皆さんで共有し、県内工事の現場でさまざまな効率化が図られて、施工者、発注者、地元住民の方々の生活がより良くなってほしい」と述べた。

優秀賞、優良賞の受賞企業と工事は次のとおり。カッコ内は発表者（敬称略）。

- △優秀賞▽研屋（土屋裕幸）  
 〓 町道悪戸矢瀬線防護網設置工事  
 △金子建設（重田貴良）  
 〓 芝附橋架替・農業用水道移設・道路改良工事  
 △原工業（今泉幸夫）  
 〓 明和東部工業団地造成工事  
 △渡辺建設（竹淵康弘）  
 〓 浅間牧場集管理中管理牛舎A新築工事  
 △岩瀬工務店（園田知諒）  
 〓 男井戸川中流工区河川改修工事。



GKGコンテスト  
優秀12現場を表彰  
群馬県建設業協会（青柳剛  
会長）の会員企業の女性社員  
で組織する「環境すみずみパ

トロール隊」（愛称GKG）  
ぐんケンガール）は、女性目  
線で評価した快適職場を表彰  
する「環境すみずみ（GKG）  
コンテスト」を行い、202  
3年度優秀工事現場として12  
件を選定した。15日の施工技  
術発表会に合わせて表彰式を  
開き、受賞者代表に表彰状を  
授与した。写真。

表彰現場は次のとおり。

▽補助公共社会資本総合整備  
（国土強靱化・補正）（防災・安  
全）（5か年加速化）道路改良工  
分割19号主要地方道前橋玉村線バ  
イパス⇨鶴川興業▽高崎市高浜ク  
リーンセンター建設工事⇨前田建  
設工業・研屋・昭和建業JV▽桐  
生市新本庁舎建設工事⇨関東建設  
工業・吉田組・桐生建設・野村建  
設工業JV。  
▽管渠築造工事（伊勢崎幹線第  
9-2工区）⇨栗原工務店・日正  
重機建設JV▽太田市第2サッカ  
ーラグビー場管理棟改修工事⇨  
協和建設▽社会資本総合整備（活

力・一般・補正）（5か年加速化）  
護岸工 渋川市小野子地内⇨瑞穂建  
設。

▽補助公共社会資本総合整備  
（防災・安全）（通常砂防）（重  
点）⇨木内建設▽美久里東小学校  
体育館大規模改修建築工事⇨豊田  
工務店▽原市小学校給食室・体育  
館屋根改修工事⇨関東建設工業▽  
国土交通省利根川水系砂防令和4  
年度大前護岸工事⇨渡辺建設▽令  
和5年度多目的集会施設建設工事  
⇨神戸土木▽サイクリングターミ  
ナル改修工事（建築工事）⇨小曾  
根建設。

## 最優秀賞に青柳さん

群馬建協青経部会  
の写真コンテスト



群馬県建設業協会青年経営者部会（篠原玄洋部会長）は、2023年度「建設業イメージアップ写真コンテスト」の審査結果を発表した。群馬建協の会員企業25社から計50点の応募があり、最優秀賞には青柳祐亮さん（小野里工業）の『現場で見つけた首長恐竜』＝写真、協会長賞に宮本政徳さん（ヤマト）の『誰もが働きやすい現場』が選ばれた。写真を通じ、建設業の魅力を内外にPRし、入職促進につなげる。

このほかの優秀賞と入選は次のとおり（敬称略）。

〈優秀賞〉またみんなで通ってね！＝吉田風（河本工業）▷閃光＝堀真由美（富士鉄重構）。

〈入選〉800㎡＝喜多利貴（岩井建設）▷ロッククライミングマシンによる防災ダムの高所法面掘削＝志塚猛（池下工業）▷Let's have fun!＝清水一希（研屋）▷中学生の職場体験。一番楽しみにしていたドローン空撮。＝木暮傑（木暮組）。

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は15日、第15回施工技術発表会を前橋市の群馬建設会館で開いた。群馬建協12支部の会員企業が土木12件、建築3件の取り組み事例を発表。最優秀賞には、群馬県が初めて発注したICT出来形管理を求める工事の取り組みを発表した大手組（安中支部）の佐藤尚希氏を選んだ。

発表会は会員企業の施工や安全対策の工夫、優れた取り組みを共有すること、社会資本の良質な整備



最優秀賞の佐藤氏

## 最優秀賞に佐藤氏（大手組）

### 群馬建協施工技術発表会

と維持管理、生産性の向上を促すのが狙い。12支部の会場や群馬県の関係機関などにウェブ配信し、約250人が聴講した。発表会では最優秀賞1件、優秀賞2件、優良賞5件、佳作7件を選定した。群馬建協の大川弘志土木舗装委員長が審査委員長、関東地方整備局高崎河川国道のドローンでUAV（無人

事務所の洲永美秋副所長、群馬県土木整備部の後藤剛建設企画課長、群馬建築士会の松本あい子常任理事、上毛新聞社報道部の関坂典生経済担当主事、群馬建協の小曾根久八建築委員長が審査員を務めた。

航空機）測量も行った。高価な3Dレーザースキャナ（LS）はレンタルで対応し、計測と解析は自社の技術者が担当した。佐藤氏は3Dデータの作成に苦労した一方で、工事関係者の情報共有や複雑な構造部の干渉チェック、データ保存などをメリットに挙げた。表彰式の後、佐藤氏は「初めての取り組みに

15事例の内容、発表の分かりやすさなどを審査した



して「蓄積したノウハウ、知見を重ねた取り組みを聞ける貴重な機会になる」と話した。講評した洲永副所長は「課題への対応が素晴らしい。コスト縮減、工期短縮、省人化に取り組みでもっている。引き続き新技術の活用をお願いしたい」と述べた。受賞者は次の通り。敬称略。社名・氏名。

〈最優秀賞〉大手組・佐藤尚希  
 〈優秀賞〉研屋・土屋裕幸▽佐田建設・福島隆行  
 〈優良賞〉須田建設・角田均▽金子建設・重田貴良▽原工業・今泉幸夫▽渡辺建設・竹渕康弘▽岩瀬工務店・蘭田知諒

会社のみんなが協力してくれた。県の安中土木事務所にも協力していただいた」と謝意を示した。発表会の冒頭、青柳会長は「どの工事もレベルアップしてきたのが分かる。中身も時代とともに変わってきた」とあいさつ。塩原会長は「会員技術者の施工ノウハウを学ぶのは良質な社会資本整備につながる」と述べた。後藤課長は来賓と

〈佳作〉坂本建設・坂本勝義▽上柿建設・池田正和▽小林建設工業・羽鳥亨之▽塚越土建・長坂一夫▽東光建設・生方竹良▽広木工業・春山剛▽稲村建設・北爪登。

土木  
協会  
と  
群馬  
県  
協  
建  
協  
施  
工  
管  
理  
技  
士  
会

# 最優秀賞は佐藤氏

## 第15回施工技術発表会

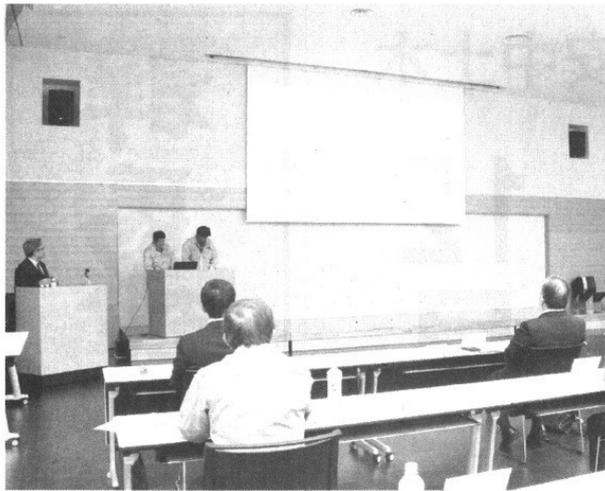


青柳会長



塩原会長

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は15日、群馬建設



各現場の施工技術が発表された



後藤課長

会館で15回目となる施工技術発表会を開催した。12支部から土木工事12件、建築工事3件が発表され、大手組の佐藤尚希氏が最優秀賞を受賞した。会場の様子はWebを通じて各支部にも配信され、約300人が事例

発表に耳を傾けた。合わせて、女性の目線で職場の快適さを審査する第6回環境すみずみコンテストも開催。12支部で優れた取り組みを行った現場に表彰状が送られた。

冒頭、青柳会長は「発表会を通して、技術者の皆さまが作り上げてきた成果を学び取ってほしい」とあいさつ。続いて塩原会長が「優れた施工能力やノウハウ、創意工夫などを学ぶことは、良質な社会資本整備につながる」と話した。来賓のあいさつで、県土木整備部建設企画課の後藤剛課長は「新たな知見、新技術などを汲み取りながら創意工夫を重ねて取り組まれた成果が聞ける貴重な機会」と期待の言葉を述べた。

施工技術発表会の審査結果は次のとおり。（敬称略）

### 【最優秀賞】

◇佐藤尚希（大手組）

### 【優秀賞】

◇土屋裕幸（研屋）

◇福島隆行（佐田建設）

### 【優良賞】

◇角田均（須田建設）

◇重田貴良（金子建設）

◇今泉幸夫（原工業）

◇竹渕康弘（渡辺建設）

◇園田知諒（岩瀬工務店）

# 最優秀賞に 佐藤さん(大手組)



最優秀賞で表彰される  
佐藤さん(右)

県建設業協会など  
施工技術発表会

建設現場での創意工夫を  
テーマにした施工技術発表  
会(県建設業協会、県土木  
施工管理技士会主催)が15  
日、前橋市の群馬建設会館

で開かれ、県内15社の発表  
者が技術や説得力などを競  
った。最優秀賞に大手組(安  
中支部)の佐藤尚希さんが  
選ばれた。

佐藤さんは碓氷川の護岸  
工事に伴う橋の架け替えに  
関連した橋台の施工につい

て発表した。情報通信技術  
(ICT)を活用し、起工  
測量から構造物工の出来形  
管理まで自社で手がけたこ  
とを紹介した。

発表会は新技術や工夫を  
学ぶことなどを目的に開  
き、15回目。最優秀賞以外  
の入賞者は次の通り(敬称  
略、かつこ内は支部名と発  
表者)。

▽優秀賞 研屋(高崎、土屋  
裕幸)佐田建設(前橋、福島隆  
行)▽優良賞 須田建設(沼  
田、角田均)金子建設(渋川、重  
田貴良)原工業(館林、今泉幸  
夫)渡辺建設(吾妻、竹渕康弘)  
岩瀬工務店(伊勢崎、蘭田知  
諒)▽佳作 坂本建設(桐生、  
坂本勝義)上柿建設(伊勢崎、  
池田正和)小林建設工業(太  
田、羽鳥亨之)塚越土建(藤岡、  
長坂一夫)東光建設(吾妻、生  
方竹良)広木工業(富岡、春山  
剛)稲村建設(前橋、北爪登)  
(関坂典生)